

令和6年1月19日 作成

令和5年度第2回大町町地域公共交通会議 議事録（要旨）

日 時：令和6年1月17日（水） 14：00～15：00

場 所：大町町役場 2階 中会議室

参加者：九州運輸局佐賀運輸支局	首席運輸企画専門官	牟田 嘉伊座
九州運輸局佐賀運輸支局	首席運輸企画専門官	古賀 陽一郎（欠席）
佐賀県さが創生推進課	副課長	江口 里司
一般社団法人佐賀県バス・タクシー協会	専務理事	草野 武生
祐徳自動車株式会社	乗合バス部長	山口 守
有限会社大町観光タクシー	代表取締役	山口 輝二郎
白石警察署	交通課長	堤 祐二（欠席）
大町町	副町長	内田 学
大町町	福祉課長	宮崎 貴浩
大町町	教育委員会事務局長	井手 勝也
九州地方整備局佐賀国道事務所	計画課長	藤本 知法（欠席）
佐賀県杵藤土木事務所	管理第二係長	馬場 智生
大町町	農林建設課長	高田 匡樹
大町町区長会	代表	江頭 賢治
大町町老友会クラブ連合	会長	堅固 勲（欠席）
大町町婦人会	会長	武村 妃呂子
大町町民生委員会	会長	武村 宣子
大町町ひじり学園 PTA	代表	角田 隆
大町町商工会	会長	藤瀬 正男（欠席）
大町町議会	議員	江口 正勝
大町町議会	議員	山下 淳也

【随行者】

佐賀県さが創生推進課	主事	及川 雅陽
------------	----	-------

【事務局】

大町町	企画政策課課長	藤瀬 善徳
大町町	企画政策課副課長	大島 与志行
大町町	企画政策課主査	中島 隆貴
大町町	企画政策課主査	古賀 陽平

【オブザーバ】

西日本総合コンサルタント株式会社	副課長	中尾 和之
西日本総合コンサルタント株式会社	係長	庄司 耕

内 容：

1 開会（事務局 中島主査）

本日は委員 21 名中 16 名出席で委員会成立 （欠席：古賀委員、堤委員、藤本委員、堅固委員、藤瀬委員）

2 挨拶（内田会長）

今回の会議は、地域公共交通確保維持改善事業における事業評価が主な内容になる。皆様からの忌憚のない意見を頂戴できればと考えている。今年度、まちバスは佐賀県からの支援を頂き無料デイを拡大するなどして、これまでまちバスを使ったことがない人にも使ってもらえるような取り組みを行っている。

3 議事

- ・司会：内田会長
- ・議事録署名人：山口委員（有限会社大町観光タクシー）

4 議案

■第 1 号議案

地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価について【資料 1】

（事務局 中島主査）

資料説明

（内田会長）

単純に目標と実績を比較すれば未達成の部分が多い状況ではあるが、利用者数は昨年度に比べ伸びている。引き続き、改善を図りながら目標達成に向けて取り組んでいきたい。トライアル出入り口の協議や利用者の少ないバス停の改善等が課題と考えているが、皆様の意見があればお聞かせ願いたい。

（牟田委員）

事業評価について補足説明をさせて頂く。事務局で作成した 1 次評価を運輸支局に提出してもらい、運輸支局で 2 次評価を行う。有識者を交えた第三者評価委員会を開催し、結果をフィードバックする。このフィードバックの結果を踏まえて次期計画を策定して頂きたい。

（内田会長）

今後、協議をしながら進めて行きたい。他に何かないか。

（内田会長）

第 1 号議案について承認でよいか。 ⇒ 承認

5 報告

- (1) コミュニティバス（まちバス）運行利用状況報告について【資料 2】
- (2) 運賃無料デイの事業経過報告について【資料 3】

(事務局 中島主査)

資料説明

(江口里司委員)

利用者数は増加傾向ということであったが、同じ人がたくさんに利用して利用者数が増えているのか。それとも新規の利用者が増えているのか。わかる範囲でよいので教えて頂きたい。

(事務局 中島主査)

利用頻度によるものか、新規利用者によるものかは集計としてはとれていない。運行事業者である大町観光タクシーに確認を行い、状況を把握していきたい。

(山口輝二郎委員)

利用者は固定客が多いが、新規の利用者もいる。また利用されなくなった方もいる。流動的である。

(江口里司委員)

2点紹介させてほしいことがある。佐賀県では地域交通を支える目的で、頑張っている市町を応援する事業を行っている。条件が2つあり、1つ目は運賃を100円以上上げること。大町町は既に100円であるためこれ以上の値上げは必要ない。2つ目はバスの説明会の開催など事業促進に取り組んでいることである。この2つを実施した市町には県から奨励金がもらえる。現在、県内の市町の半数程度がこの制度を活用している状況で大町町もその1つ。

もう1点は、大町町でも無料デイを実施しているが、佐賀県でも無料デイを実施する。佐賀県内の路線バスが1月は水曜と日曜が無料になる。この機会に、これまでバスを利用したことがない方にも利用して頂ければと考えている。

(内田会長)

利用者の属性に関しては、分析が必要と考えている。運賃が無料であっても、必要がなければバスには乗らない。月の利用者数は、まちバス運賃無料デイを始めた8月から500人台をキープしていることから、新規の利用者に継続して利用して頂いていると前向きにとらえている。今のところは表面上の数字しかないので、分析を行い改善策に活かしていきたい。

(山口輝二郎委員)

夕方の空席が多い時間帯に、高校生にバスの利用を呼び掛けているという件について。下校時、高校生はトライアルから乗車するが、トライアルの出発時刻が東西ルート16時20分、南北ルート16時03分である。南北ルートの出発時刻は、学校の終業時間直後のため、バスに間に合わないとのことであった。第6便の乗車率を上げるために、高校生にも利用してもらうのであれば、南北ルートの時刻を見直すことも必要なのではないかと考える。

(内田会長)

検討したい。

(江口正勝委員)

福祉課の事業「縁ジョイ大町クラブ」は介護予防体操と買い物支援を行っている。現在は1拠点だけであるが、これを4拠点くらいに拡大させることが出来れば、まちバスの強力なサポート体制になると考えている。計画があれば教えて頂きたい。

(宮崎委員)

毎週水曜日の午前中に、支援者が自家用車で利用者宅まで迎えに行き、保健センターで体操をして、その後トライアルまで買い物に連れて行く「縁ジョイ大町クラブ」というものがある。とてもよい事業で、いろいろな広報を通じて利用を呼び掛けている状況。それに伴い支援者も必要になってくるので、そのことも含めて広報をしている。

(武村妃呂子委員)

皆様の協力のお陰で、まちバスは大町町に定着してきていると感じている。年末は、トライアルでの買い物客もこれまで以上に多かったと聞いている。問題は、港町公民分館など利用者の少ないバス停。利用者の少ないバス停を回っているがために、高校生の下校時間に間に合わないのであれば、利用者のいないバス停は切ったほうがよいのではないか。まちバスの利用価値が上がる方法を検討していくべき。

(事務局 中島主査)

事務局としても、ここがゴールだとは思っていない。より利便性の高いバスを目指していく。利用者の分布は変わっていくのでバス停位置の見直しは必要と考えている。

6 その他

(1) 大町町地域公共交通計画の評価等結果について【資料4】

(事務局 中島主査)

資料説明

(事務局 中島主査)

次回の地域公共交通会議は、3月の中旬に予定している。日程が決まり次第、ご連絡する。他に何かないか。

(江口正勝委員)

このような会議資料は、1週間くらい前に送って頂きたい。さらにより議論ができと思う。

ライドシェアについて今話題になっているが、大町町としての対応方針等あれば教えて頂きたい。

(事務局 中島主査)

ライドシェアを導入する場合、バスやタクシーの運行事業者との協議・調整は必要になってくる。今後、この場で協議をすることになるのかもしれない。

(牟田委員)

ライドシェアは、4月導入に向けて詳細な仕組みを国で検討中。タクシー事業者

の管理の元、タクシーがない地域・時間帯に限り自家用車での輸送を認める方向で検討されている。詳細な情報は運輸支局にも下りてきていない。

(江口正勝委員)

導入は決定か。

(牟田委員)

決定である。タクシー事業者の管理の元、導入される。

(草野委員)

全国のハイヤー・タクシー連合会から情報が下りてきている。タクシー事業者が管理する理由としては、事故が起きた場合の対応のためである。メインの時間帯はタクシー事業者が運行し、交通空白地帯といわれる夜中などのタクシーがない時間帯に、1種免許・白ナンバーで輸送を行い交通空白の時間帯をなくそうというのが日本版ライドシェア。アメリカ版ライドシェアが入ってきた場合に、利用者少ない地域から利用者が多い地域にライドシェアが行ってしまい、使いたいのにライドシェアがない等の問題が懸念される。国もライドシェアが必要なのはわかっているが、既存のタクシー事業者を活用しながら導入を進めている。

(江口正勝委員)

導入ありきというより、積み重ねなければいけないプロセスがたくさんあるように感じる。

7 閉会（事務局 中島主査）

以上をもって会議を終了する。

以上

議事録確認日：令和 6 年 1 月 19 日

議事録署名人： 有限会社 大所観光タクシー 代表取締役
山口 輝 = 郎